

天門美術館企画・編集・発行

幕末明治の文人 山中信天翁

▶A4判変・236頁

定価:本体 3,000円+税

ISBN:978-4-7842-1972-8

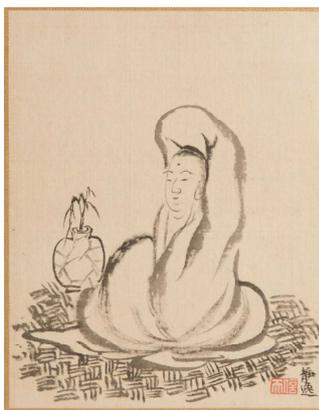
【2019年4月刊行】

幕末から明治維新にいたる社会変革を推し進めた画家・書家・学者たちのなかでも、山中信天翁（一八二二〜八五）の功績は際立っている。その名声のほどは、明治天皇が、関西行幸の際に信天翁の嵐山の山荘に立ち寄ったというエピソードからも知られよう。彼が最も社会に影響を与えたのは書画・篆刻・煎茶と煎茶関連の諸芸など芸術面での功績であった。



NO. 45 「養拙画帖」

NO. 54「道釈・山水・花鳥画帖」



信天翁の多彩な作品からは中国の文化と芸術への深い造形が窺われる。また、同時に信天翁は他の芸術家のパトロンともなり、若き富岡鉄斎の芸術にも大きな感化を与えた。

本書は、三篇の論考と多数の図版からなり、明治初期に京都文人画壇の中心にいた文人芸術家・山中信天翁の芸術を探究した最初の本格的な研究書である。

信天翁の作品は現在アメリカの美術館にも収蔵されている。本書に収められた数多くの絵画・書・一九四〇年の印章は信天翁の芸術活動の広さを如実に物語っている。

＊藝術家としての山中信天翁…その諸藝術についての考察

＊はじめに (池田方彩)

― 目次 ―

＊山中信天翁の書画・篆刻―文人精神と稚気 (ポール・ベリール)

＊鈴木洋保

◆ 図版 ◆

作品第一部

作品第二部

＊文人山中信天翁の誕生―誕生までの軌跡 (豆田誠路)

山中信天翁をめぐる交遊関係者略伝 (南出みゆき)

書画 賛・釈文

印章 釈文 (尾崎蒼石)

掲載作品一覧

略年譜

「＊」は英訳付

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel075-533-6860 fax075-531-0009
https://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票

発売:思文閣出版

(京都 取引コード 3402)

冊数	冊	幕末明治の文人 山中信天翁		定価:本体3,000円(税別)	ISBN978-4-7842-1972-8
お名前		tel		本書HPのQRコード	
		e-mail			
ご住所	〒				
送本方法	代引(書籍代+消費税+送料600円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎				

文人画 往還する美

河野元昭著

作品そのものに誠実に向き合い、画像・文献を問わずあらゆる史料を博搜する、堅実な学問的営為でありながら、広範な学識と鋭敏でしなやかな感性に支えられた叙述力で、その時代を生きた作家たちの息づかいまでが伝わる、豊饒な河野美術史の世界。

日本近世絵画史全体にわたる業績のなかから、知と美の共演というべき文人画研究を集大成。

乾山・大雅・蕪村・呉春・玉堂・竹田・米山人・文晁・華山…彼らが中国文人画の影響のもと、何を学び、何を理想として、どのような画境へ到ったのか—生き方をも含めた研鑽の跡をたどる26篇。

▶A5判・752頁／本体 15,000円 ISBN978-4-7842-1923-0

◆目次◆

第Ⅰ部

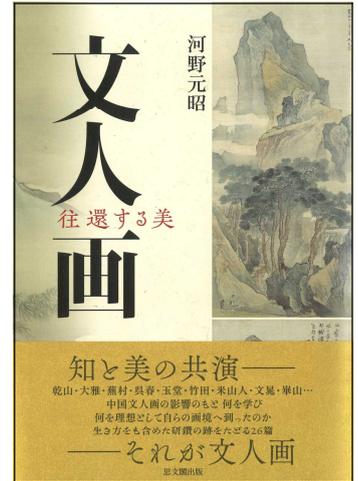
日本人文人画試論
日本文人花鳥画序説
日本初期文人花鳥画試論
江戸時代写生写意考
「写生」源泉—中国—
日中の自然と山水画
日本文人画と中国憧憬

第Ⅱ部

乾山文人画試論
大雅の詩—光と色の世界—
大雅二十代の作品—沈鬱と偏執と緊張—
大雅指墨試論
結城・下館時代の蕪村画
蕪村の微光感覺
行路の画家蕪村—その旅立ち—
池田時代の呉春

第Ⅲ部

玉堂と酒／米山人伝小考／米山人と武陵桃源／竹田と画帖—大和文華館所蔵「翰墨隨身帖」を中心に—／真景の理想化—竹田の山水画—／田能村竹田の勝利／関東南画の成立と展開／文晁と藍瑛／文晁の中国画学習—『顧氏画譜』と『漂客奇賞図』—／文晁の中国画学習—『書画甲観』と『集古十種』—／華山と江戸絵画



セザンヌと鉄斎 同質の感動とその由縁

山岸恒雄著

フランスの画家ポール・セザンヌと富岡鉄斎。両者の絵の同質性が何に由来するものなのか、また何を意味するものなのかを、両画家の生い立ちや教育、思想、哲学、人生観、芸術観などから解き明かす。

▶A5判・358頁／本体 2,800円 ISBN978-4-7842-1796-0

岡倉天心 五浦から世界へ

茨城大学社会連携センター・五浦美術文化研究所編

東洋美術を世界に知らしめた岡倉天心が晩年過ごした茨城県の北端・五浦(いづら)での生活と思索は、天心に何をもちたか。2016年9月に行われた国際シンポジウムの記録。附録には、東日本大震災で流出した六角堂の復元記録、天心の主要な遺品の解説をカラー掲載。

▶A5判・216頁／本体 3,200円 ISBN978-4-7842-1931-5

近代京都の美術工芸 制作・流通・鑑賞

並木誠士編

明治・大正期の京都で制作・流通・鑑賞された絵画、工芸、建築、庭園さらには定期刊行物や書物など広範なジャンルをとりあげて論じることにより、近代京都の美術工芸をめぐる状況の解明を試みる。近代京都の美術工芸研究を更新し、その作品や資料の評価、位置づけを問い直す論集19篇。

▶A5判・608頁／本体 11,000円 ISBN978-4-7842-1938-4

田能村竹田基本画譜 [全2巻]

宗像健一編著

図版篇には厳選された140点(カラー95点・モノクロ45点)の作品を大型図版で収録。解説篇には総論と基本作品の詳細を極めた個別解説のほか、題詩・落款・印譜・年譜などを収録。美術史以外にも、豊後(大分県)の地誌編纂に携わるなどした竹田の多才にあわせ、大分県・煎茶・漢詩・儒学・歴史など広範な研究に大いに益する。

▶B4判変・398頁／本体 28,000円 ISBN978-4-7842-1566-9

没後220年 蕪村

逸翁美術館・柿衛文庫編

与謝蕪村(1716-1783)の没後220年を記念し、逸翁美術館と柿衛文庫が共同で編集。南画・俳画・嫁入手・扇面・草稿・短冊・俳書・書簡など、新出作品もふくめ全176点を解説を付してカラーで収録。書簡については巻末に翻刻・解説を併載。

▶A4判・210頁／本体 2,200円 ISBN4-7842-1162-4

※中国文人画の近代 豊子愷の西洋美術受容と日本西槇偉著

中国近代を代表する文人・芸術家である豊子愷(1898-1975)。「中国」「日本」「西洋」という三つの視点を設けることにより、豊子愷が日本を通して西洋美術を受容したことの意義を問うと同時に、「文化の越境者」豊子愷の本質に迫り、20世紀日中知的交流の軌跡を検証する。

▶A5判・384頁／本体 5,500円 ISBN4-7842-1230-2

岡倉天心の比較文化史的研究

清水恵美子著

ボストンでの活動と芸術思想

明治時代に美術分野で活躍した思想家、岡倉覚三(天心、1863-1913)の、特にそのボストンでの活動に焦点をあてて考察。著者がアメリカで発見した新出資料などを駆使し、同時代の文化的状況、美術、演劇など複眼的な視座からアプローチし、より立体的な解釈を試みる。

【2012年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞】

▶A5判・548頁／本体 10,700円 ISBN978-4-7842-1605-5

京都 近代美術工芸のネットワーク

並木誠士・青木美保子編

人を中心とした、近代京都の美術工芸にまつわるヒト・モノ・コトのネットワーク。ビッグネームだけでは構築されない美術工芸の現場をあぶり出すことにより、よりヴィヴィッドな美術史が見えてくる。

▶A5判・352頁／本体 2,500円 ISBN978-4-7842-1882-0

原本『古画備考』のネットワーク

古画備考研究会編

東京藝術大学附属図書館に所蔵される朝岡興偵自筆の原本『古画備考』を中心に、古画備考研究会が取り組んできた共同研究の成果。江戸後期の知識人による知のネットワークが幕末から近代にかけての日本の歴史に寄与した一端を解明する17論文・3コラムで構成した総合的論文集。

▶A5判・498頁／本体 9,200円 ISBN978-4-7842-1674-1

廣瀬淡窓

井上敏幸監修／高橋昌彦編著

江戸時代後期、豊後日田に生まれ活躍した儒学者・教育者・漢詩人、廣瀬淡窓(1782-1856)の評伝。淡窓の日記や自叙伝、著書をはじめ、書簡や漢詩、周辺史料などから淡窓の生涯を再検討し、新たな淡窓像を構築する。とくに漢詩を多くとりあげ、その背景についても解説。著述と出版についても、最新の調査をふまえて詳細に検討する。

▶B6判・334頁／本体 2,500円 ISBN978-4-7842-1817-2

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年2回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。 ※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。